



2021年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイエスエス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 藤木 孝夫  
 (コード番号:6074)  
 問い合わせ先 取締役管理本部長 濱治 雅弘  
 TEL 06-6449-6121 (代表)

## 特別損失の計上および2021年3月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）決算において、2021年2月12日に公表しました2021年3月期通期の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失（減損損失）の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、採算性が悪化している直営事業所の固定資産の将来回収可能性を検討した結果、2021年3月期におきまして268,733千円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

#### 2. 2021年3月期通期業績予想と実績値との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 6,605	百万円 43	百万円 49	百万円 △240	円 銭 △61.80
実 績 値 ( B )	6,494	81	90	△440	△113.93
増 減 額 ( B - A )	△111	38	41	△200	—
増 減 率 ( % )	△1.7	88.4	83.7	—	—
( 参 考 ) 前 期 実 績	8,480	374	390	185	47.86

#### ・2021年3月期通期業績予想と実績値との差異

当社におきまして2021年3月期第1四半期は、緊急事態宣言に伴う休業要請や地域の小学校の休校などに準じ、全国の事業所で営業の縮小や休業を余儀なくされ、この期間の売上減少、固定費負担は業績に甚大な影響を及ぼしました。

しかしながら、緊急事態宣言解除後は各種感染防止策を徹底しつつ、最大限安全に配慮した形で営業を再開する中で、当初は感染拡大の不安から休会者が増加したものの7月以降は大半の休会者が復帰し、その後も平年並みの水準で推移するなど一定の安定した運営の結果、売上高については、概ね計画通りに推移しました。

利益面につきましては各業務のオペレーション見直しやWEB会議システムの活用により、人件費、旅費交通費、水道光熱費等をはじめとするコストコントロールの徹底、本社部門の効率化による労務費削減など、経費圧縮を進めた結果、営業利益、経常利益ともに計画値を上回ったものの、当期純利益につきましては、上述の通り特別損失を計上したことにより、予想を下回ることとなりました。

以 上